

2290 | 美術の歴史と鑑賞

2 単位 (通信授業 2 単位)

大坪圭輔教授、三澤一実教授、金子伸二教授、杉浦幸子教授、松永康講師、弘中智子講師、齊藤佳代講師

授業の概要と目標

学校の美術教育の現場では言語活動を中心とした鑑賞の授業の重要性が高まっている。また教育基本法や博物館法などの改正のなかで、美術館を含めた広範な場所で鑑賞教育の重要性もまた高まっている。

そこでこの授業では、美術科教員、学芸員または美術の社会的普及を目指す立場の者が、古代から現代までの世界の美術の歴史についての基本的な知識を得て、さらに子どもから大人まで誰にでも開かれた美術鑑賞を担うことを目標とする。その際、特定の時代や地域に限定せず、日本の伝統美術やアジアを含めた世界的な美術の交流について、深い知識と実践につながる構想を持つ。

課題の概要

○通信授業課題 1

日本・東洋・西洋を比較した美術の流れを考える課題。

○通信授業課題 2

鑑賞の意義と構想を論じる課題。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

- ・『美術 表現と鑑賞』のうち「鑑賞編」「資料編」「美術史年表」を中心に学習する。
- ・『美術教育の動向』のうち第4章「連携開発」の2「学校／美術館連携」、3「学校／地域連携」、4「アートプロジェクト」における事例19～23を使用する。

成績評価の方法

◎科目試験

教科書から、日本・東洋・西洋の美術の歴史に関する基礎知識と、鑑賞の工夫を題材に出題する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

学芸員課程の設定科目であり、資格取得希望者は1～3年次に履修することが望ましい。

教材等

教科書：日本造形教育研究会監修『美術 表現と鑑賞』（開隆堂出版）

大坪圭輔・三澤一実編『美術教育の動向』（武蔵野美術大学出版局 2009年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019年）

0320 | 日本美術史

2 単位 (通信授業 2 単位)

玉蟲敏子教授、坂本明子講師

授業の概要と目標

生活の中で根付き、育まれてきた日本の造形の歴史を学びます。まず絵画作品を中心に学習し、そこから更に、彫刻や工芸にも視野を広げてほしいと思います。

造形作品には常にそれぞれ固有の価値があると共に、製作者の存在や受容者の意識、社会的な機能・用途があり、更にそれを生み出した時代的、文化的な背景をめぐる問題があります。複数の視点から作品をじっくりみつめ、日本の造形文化を深く理解して頂きたいと思います。加えて学習の過程で感じた事柄などを生かし、受講者の視点がレポートなどの文中にも積極的に盛り込まれることを期待します。

課題の概要

○通信授業課題 1

12 世紀のやまと絵の技法を伝える「源氏物語絵巻」「信貴山縁起絵巻」の 2 点を比較し、文化的背景などに留意しながら、それぞれの表現上の特色を述べなさい。

○通信授業課題 2

江戸時代の庶民文化の華とも称される浮世絵、その中から任意の一名を選び、作品を挙げて特質を論じなさい。なお肉筆画と版画の役割、技法、時代背景、国際交流などの観点を理解した上で課題を進めること。

*課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書は、第 1 章「生活の造形」、第 2 章「宗教の造形」、第 3 章「作家の造形」の項目順に掲載されています。教科書全体を熟読してまず流れを把握し、該当する作品を丁寧に鑑賞した上でそれぞれの課題に臨むよう心がけてください。

第 1 部 生活の造形

第 1 章 狩猟民族の造形 第 2 章 農耕民の造形 第 3 章 王族の造形 第 4 章 公家の造形
第 5 章 武家の造形 第 6 章 町衆の造形 第 7 章 民衆の造形

第 2 部 宗教の造形

第 1 章 原始信仰の造形 第 2 章 神道の造形 第 3 章 顕教の造形 第 4 章 密教の造形
第 5 章 浄土教の造形 第 6 章 禅の造形

第 3 部 作家の造形－美術家の系譜－

第 1 章 画家 第 2 章 書家 第 3 章 彫刻家と工芸家 第 4 章 茶匠と花匠

成績評価の方法

◎科目試験

教科書の該当部分を中心に出题します (記述式)。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

学芸員課程の設定科目であり、資格取得希望者は 1～3 年次に履修することが望ましい。

教材等

教科書：水尾比呂志著『日本造形史 用と美の意匠』(武蔵野美術大学出版局 2002 年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年)

その他

まずは教科書や関連図書の図版などを丁寧に鑑賞し、作品の特徴を感じ取りましょう。また各種展覧会にも足を運ぶなど、日頃から作品に触れる機会を積極的にもって下さい。作品に親しみ、日本美術の特質を広い視野からとらえて欲しいと思います。

また通信課題 1、2 は主に第 1 部と第 3 部に関連する内容となりますが、教科書全体を熟読して流れを把握した上でそれぞれの課題に臨むよう心がけてください。更に参考文献なども適宜参照し、課題に関する知識を深めましょう。

0330

東洋美術史

2 単位（通信授業 2 単位）

朴亨國教授、萩原哉講師

授業の概要と目標

東洋とは、西アジア・中央アジア・南アジア・東南アジア・東アジア地域を総じている。本授業では、西アジアを除くそれら諸地域の美術史を対象とする。課題 1 では、東洋（日本を除く）で生み出された美術作品を通して、美術史の研究方法を学ぶ。課題 2 は、課題 1 の応用である。東洋と日本を結ぶアジア的な視野に立ち、造形活動の交流と展開について理解を深めることを目標としている。

課題の概要

○通信授業課題 1

①～⑥のテーマのうち いずれか一つを選択し、作品 3 点以上を取り上げて、美術史の流れを具体的に論じなさい。

- ① 仏像の発生及び初期仏像の様式変化について —グプタ時代までのマトウラー仏とガンダーラ仏を中心に—
- ② アンコール期の寺院建築と浮彫彫刻について —バンテアイ・スレイ、アンコール・ワット、バイヨンを中心に—
- ③ 北魏時代から唐時代までの仏像の様式変化について —雲岡石窟と龍門石窟を中心に—
- ④ 統一新羅時代の仏教彫刻について —仏国寺と石窟庵を中心に—
- ⑤ 五代～北宋時代の水墨山水画について —李成・范寛・郭熙を中心に—
- ⑥ 元～明時代の青花について —元・洪武・永楽を中心に—

○通信授業課題 2

東洋において制作された美術の中から、任意に 1 点の作品を選択し、美術史の視点に立って作品を考察せよ。さらに、その作品が日本美術に与えた影響について考察せよ。
*課題については、学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書を使用する。課題 2 のテーマは、教科書の中から選ぶこと。

成績評価の方法

◎科目試験

教科書から出題（論述・記述式）。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

学芸員課程の設定科目であり、資格取得を希望する者は 1～3 年次に履修することが望ましい。

教材等

教科書：朴亨國監修『東洋美術史』（武蔵野美術大学出版局 2016 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

留意事項

この授業は、受講者が『造形文化科目・教職に関する科目学習指導書』と教科書の序章に書かれている内容を理解していることを前提として成り立っている。したがって、学習方法及び課題の目的と考察方法について、理解していないレポートは、採点の対象とならない。

0340 | 西洋美術史I

2 単位 (通信授業 2 単位)

北澤洋子教授、福本薫講師、宮崎匠講師

授業の概要と目標

西洋美術史は、古今の美術作品に触れ、様々な文化と造形表現、創造のありように対する理解を深めることを目的とする。この科目では、紀元前 4 千年紀から 15 世紀までの、古代、中世を取り扱う予定である。四大文明、地中海文明の成立から古典古代様式という西洋美術の根幹となる規範の確立を経て、キリスト教や他民族の文化の融合によって西洋文明の伝統がいかにして形成されてゆくかを考える。特に、絵画や彫刻を始めとして建築や工芸の代表作に触れながら、形と意味、物の見方が歴史的にどのように継承されたり、移り変わったりしたのか理解することに努めることになろう。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書を踏まえて、エジプト、メソポタミア、ギリシャなどさまざまな地域で展開した古代美術の特性について考察する課題である。

○通信授業課題 2

教科書を踏まえて、中世美術の本質とその後代における継承のあり方について考察する課題である。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書の第 1 章ならびに第 2 章を使用する。

1 「古代」

1. エジプト美術 / 2. メソポタミア美術 / 3. エーゲ美術 / 4. 古代ギリシャ /

5. エトルリアとローマの美術

2 「中世」

1. 初期キリスト教時代 / 2. ビザンティン美術 / 3. 西欧中世初期 / 4. ロマネスク美術 /

5. ゴシック / 6. 早期ルネサンスのイタリア絵画 / 7. 初期ネーデルラント絵画

成績評価の方法

◎科目試験

教科書の該当部分を中心に出題する (記述式)。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

学芸員課程の設定科目であり、資格取得希望者は 1～3 年次に履修することが望ましい。

教材等

教科書：北澤洋子監修『西洋美術史』(武蔵野美術大学出版局 2006 年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年)

0350 | 西洋美術史II

2 単位 (通信授業 2 単位)

北澤洋子教授、楠根圭子講師

授業の概要と目標

この授業では、西洋におけるルネサンスから現代に至る美術の歴史を学ぶ。具体的には、15 世紀から 20 世紀までのさまざまな芸術の潮流や運動の特徴について、作家や作品に即しながら理解することを目的とする。とはいえ、芸術を独立した現象として捉えるのではなく、それぞれの芸術様式が独立した時代背景を考慮しつつ、その社会的な役割についても理解を深めたい。また、単に教科書や参考文献で得られた知識を整理・羅列することで満足するのではなく、自分自身の眼で画集の図版や実際の作品をじっくりと鑑賞することによって、それらの知識に肉づけをしていくことをも重視する。いわば知性と感性の両面から、西洋美術の流れを多角的に理解することを目指したい。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書や参考書を踏まえて、特定の美術潮流とその時代背景について論述する。

○通信授業課題 2

受講者が実際に鑑賞した美術作品 1 点について記述を行なう。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書の以下の該当部分を使用する。

第 3 章「近世」、第 4 章「近代」、第 5 章「現代」

成績評価の方法

◎科目試験

出題範囲は教科書の第 3～5 章とする (記述式)。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

学芸員課程の設定科目であり、資格取得希望者は 1～3 年次に履修することが望ましい。

教材等

教科書：北澤洋子監修『西洋美術史』(武蔵野美術大学出版局 2006 年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年)

参考書：教科書巻末 (236～237 頁) の参考文献一覧を参照のこと。

インターネットで複製図版を参照するには下記のサイトが有用である。

Web Gallery of Art (<http://www.wga.hu/>)

その他

平素から近隣の美術館、展覧会等で多くの作品に接すること。

0360 | 建築史

4 単位（通信授業 4 単位）

松葉一清教授、足立純子講師

授業の概要と目標

ヨーロッパを中心とした建築と都市の歴史を、古代から中世、さらには近世から初期近代にわたって通観する。建築の様式や変遷を単にたどるだけではなく、それぞれの時代に特有の社会や経済、そして文化を生み出してきた人類の歴史のなかで、建築や都市は、どのような役割を果たし、どのように変化と発展を遂げてきたかを、各時代において考察していく。そうした学習によって、建築における機能、構造、材料、美学などの時代による変化を理解し、それぞれの地域風土の差異によって生まれた建築様式の多彩な変貌と展開の跡をたどることを目標としたい。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書「序章」（建築史の概念）と「第 1 章 古代およびヨーロッパ建築周辺史」を理解し、演習問題を踏まえて 2000 字程度のレポートにまとめて提出する。

○通信授業課題 2

教科書「第 2 章 中世」を理解し、演習問題を踏まえて 2000 字程度のレポートにまとめて提出する。

○通信授業課題 3

教科書「第 3 章 ルネサンス以降のイタリア建築の展開」「第 4 章 イタリア以外のヨーロッパの近世建築」を理解し、演習問題を踏まえて 2000 字程度のレポートにまとめて提出する。

○通信授業課題 4

教科書「第 5 章 新古典主義と 19 世紀の建築」を理解し、演習問題を踏まえて 2000 字程度のレポートにまとめて提出する。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書「序章」から「第 5 章」と、関連する参考文献・資料（学習指導書参照）を使用し、古代から 19 世紀までの建築史を読み進める。

成績評価の方法

◎科目試験

教科書に準じて出題した科目試験の成績によって評価する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

学芸員課程の設定科目であり、資格取得希望者は 1～3 年次に履修することが望ましい。

教材等

教科書：谷口汎邦監修、吉田鋼市著『西洋建築史』（森北出版株式会社 2007 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

その他

課題、授業計画、参考文献の詳細は、学習指導書を参照のこと。

0370 | デザイン史

2 単位（通信授業 2 単位）

木田拓也教授、新川徳彦講師

授業の概要と目標

産業革命以降の近代社会において、モノのデザインは人とどう関わることになったのか。いわゆる近代デザインの運動が新しい産業社会に対して様々なアプローチを試みる一方で、消費社会には膨大なモノが氾濫し、人々の欲望を喚起させてきた。単なるデザイナーやその作品の理解にとどまらない幅広いデザイン認識の中で 19～20 世紀という時代背景を理解しながら、デザインが人々の日常生活をどのように変えていったのかの歴史を学ぶ。

課題の概要

○通信授業課題 1

モダン・デザインの運動を下記の選択群の中からひとつ取り上げ、モダン・デザインのプロジェクト全体が目指したものと関連の中で論じなさい。

選択群:「アーツ・アンド・クラフツ」「アール・ヌーヴォー」「未来派」「デ・ステイル」「ドイツ工作連盟」「バウハウス」「アメリカのインダストリアル・デザイン」「ロシア・アヴァンギャルド」「アール・デコ」「ポストモダン」

○通信授業課題 2

モダン・デザインと深く関わる「人物」をひとり取り上げ、社会との関わりについて触れながら、その歴史的な位置づけを自分の視点から論じなさい。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

主に教科書を使用する。

- 序論 「デザイン史の現在」
 1 章 -1 「近代デザインにむかって」
 1 章 -2 「近代デザインの展開」
 2 章 「グラフィックデザイン」
 3 章 「エディトリアルデザイン」
 4 章 「ファッションデザイン」
 5 章 「クラフトデザイン」
 6 章 「プロダクトデザイン」
 7 章 「建築」
 おわりに 「モダニズムの展望」

成績評価の方法

◎科目試験

教科書の該当部分を中心に出題する（記述式）。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

学芸員課程の設定科目であり、資格取得希望者は 1～3 年次に履修することが望ましい。

教材等

教科書：柏木博編『近代デザイン史』（武蔵野美術大学出版局）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

その他

参考文献は、学習指導書の「参考資料」欄を見ること。

2190 | 演劇史

2 単位 (通信授業 2 単位)

小島智章講師、赤井紀美講師

授業の概要と目標

舞楽・能・狂言・歌舞伎・人形浄瑠璃・落語…。日本では、それぞれ生まれた時代の違う各種の演劇芸能が変容を経ながらも今日なお滅びることなく、生き生きと上演されている。

この授業ではそうした日本の古典演劇・芸能の流れと、それぞれの特色を見ていく。

演劇史の基本的な知識を身につけつつ、どうしてこれだけ多くの古典演劇（芸能）が日本に残っているのか、なぜ現代の我々がそれに魅力を感じるのか、といった問題を考えていただきたい。教科書の内容は通史的に展開しているが、単に知識を身につけるだけでなく、そこから自分なりの演劇史に関する考えを作り上げて欲しい。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書の第 1 章から第 5 章までに記されている事柄の中からとくに興味を抱いたもの（歴史的展開、人物、作品、ジャンルの特色など）について、自分の鑑賞経験と関連づけて論じなさい。単なる要約や感想だけでなく、自分なりの考えを出すようにして下さい。

タイトルは各自でつけ、参考にした資料の出典（著者、出版社、発行年月など）を必ず記すこと。鑑賞経験については日時、演者など出来るだけデータを添えること。

○通信授業課題 2

教科書の第 6 章から第 11 章までに記されている事柄の中からとくに興味を抱いたもの（歴史的展開、人物、作品、ジャンルの特色など）について、自分の鑑賞経験と関連づけて論じなさい。単なる要約や感想だけでなく、自分なりの考えを出すようにして下さい。

タイトルは各自でつけ、参考にした資料の出典（著者、出版社、発行年月など）を必ず記すこと。鑑賞経験については日時、演者など出来るだけデータを添えること。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書『日本古典芸能史』を読みながら学習を進め、通信授業課題に取り組むこと。

成績評価の方法

◎科目試験

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：今岡謙太郎『日本古典芸能史』（武蔵野美術大学出版局 2008 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

その他

教材以外の主要参考文献は教科書末尾に一覧表を掲げるので、参照すること。

0380 | 民芸論

2 単位 (通信授業 2 単位)

玉蟲敏子教授、杉山享司講師

授業の概要と目標

柳宗悦の民芸論が、どのような経緯で生れたかといったことを、先づ雑誌『白樺』に発表された初期の柳の諸論文に当て考察し、次いで、柳が純粹美術から工芸へ関心を向けるきっかけになった朝鮮工芸の美を、日本民藝館などの美術館で鑑賞して、柳の工芸美との出会いを追体験していただく。その上で、日本の民衆的工芸品へ関心を向けてもらい、柳の言う民芸論とは何かについて、柳の論文と実際の物を照らし合わせて考察してもらうこととする。そして、これからの民芸の在り方や実生活との関わりについて、各自の理解と関心を深めてもらうことを目標としたい。

課題の概要

○通信授業課題 1

「私的民芸論」という論文を提出して下さい。

○通信授業課題 2

居住地域あるいは居住する近隣地域で、あなたが民芸と考える品物の製作現場を訪ねて、その仕事の調査を行い、現在の状況等々を報告して下さい。現場に関する写真を必ず添えて下さい。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書以外の参考図書も最低二冊は熟読し、その上で通信課題に取り組むこと。

成績評価の方法

◎科目試験

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：柳宗悦『民藝とは何か』（講談社学術文庫）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

その他

参考文献：『民芸大鑑（5 巻）』（筑摩書房）

『柳宗悦全集（22 巻）』（筑摩書房）

水尾比呂志『評伝柳宗悦』（筑摩書房）

柳宗悦『民芸四十年、工芸文化、手仕事の日本、民芸紀行、美の法門』（岩波文庫）

『柳宗悦コレクション「ひと」「もの」「ところ」（3 巻）』（筑摩書房）

水尾比呂志『日本造形史 一用と美の意匠』（武蔵野美術大学出版局）

鶴見俊輔『柳宗悦』（平凡社ライブラリー）

中見真理『柳宗悦』（岩波新書）

志賀直邦『民藝の歴史』（ちくま学芸文庫）

0390 | 美術論

2 単位 (通信授業 2 単位)

田中正之教授、細井真子講師

授業の概要と目標

「美」とは何かという本質的な問いを軸として、古代から現代にいたるまでの美術の流れを巨視的に考察する。美術史学についての基本的理解を獲得することを目標としたい。

課題の概要

○通信授業課題 1

「やまと絵」の定義の変遷についてまとめなさい。

○通信授業課題 2

日本美術における、芸術と社会とのかかわりについて考察しなさい。できるだけテーマを絞り、具体的な記述でまとめること。

*課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書および、各自のテーマに沿った参考文献を適宜、参照のこと。

成績評価の方法

◎科目試験

教科書を中心に出題する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：辻惟雄監修『増補新装カラー版日本美術史』（美術出版社 2003 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

その他

積極的に美術館、博物館、ギャラリー等の展覧会に足を運び、古今東西の美術を体験してほしい。

0400 | 現代芸術論

2 単位 (通信授業 2 単位)

田中正之教授、岡山理香講師

授業の概要と目標

「現代芸術」という言葉は、多くのことを意味しえますので、ここでは、20 世紀以降の視覚芸術全般を指すことにします。時代区分として、現代芸術を第二次世界大戦以降のものとするのは、アメリカ美術を中心とした考え方ですので、ここでは、モダン・アートもコンテンポラリー・アートも含まれます。

しかし、全ての 20 世紀以降に制作されたものを現代芸術と呼ぶことはできるでしょうか。現代芸術の定義とは何でしょうか？ なかなか答えにくい問いですが、たとえば、ある作品を前にして、それを日常の延長として理解することが極めて難しいものほど現代芸術という範疇に属している可能性が高いと言えるでしょう。

さて、そうした現代芸術を同時代的な現象としてその日々の変化をリアルタイムに追うことはきわめて困難です。多くの作品を実際に見るに止まらず、雑誌、新聞、テレビ等のメディアをも調べなければなりません。その後に蓄積された膨大な量の情報は、理論という篩いにかけて、はじめて理解可能となるのです。また、今日の芸術は、過去との連続として語られるものです。アクチュアルな問題を扱うには、今日までの芸術の歴史と理論を知る必要があります。

学生諸君が、21 世紀の芸術の制作／享受する者として、現代芸術の理論を作品とともに理解することをこの科目の目標とします。

課題の概要

○通信授業課題 1

20 世紀芸術を概観しながら、芸術における「～主義 (イズム)」とは何かを考えるため、一つの「主義 (イズム)」を中心として、その派生と終焉／継続についてレポートにまとめる課題。

○通信授業課題 2

それまでの特権的に享受されていた芸術が「大衆化」することによってどのような変化を遂げたのかを考えるため、作品の分析研究に基づいてレポートをまとめる課題。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

像と視線—ポップアート以降のイメージについて 真剣な操作—『リアルな芸術』のありか フェミニニズムの芸術 アートと映像インスタレーション 日本の 20 世紀をめぐる視点 身体の裁縫術—ファッションと性 「デザインとは何か」を考えるために

成績評価の方法

◎科目試験

出題内容は、学習指導書に記載。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

「西洋美術史 I・II」、「東洋美術史」とともに履修することが望ましい。

教材等

教科書：田中正之編『現代アート 10 講』（武蔵野美術大学出版局 2017 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

0410 | 工芸論

2 単位（通信授業 2 単位）

玉蟲敏子教授、長岡絵美子講師

授業の概要と目標

形（かたち）を生み出す行為は、工人の「技術（わざ、つくり）」と「意匠（かざり）」によって成り立っている。これに加えて「用」の観点がその行為を発する源にある。この授業科目では、このような前提をふまえ、日本の工芸史のうえで特筆されるべき事象について、更なる切り口で考察する。東西の造形的文化交流を視野に入れながら日本の工芸の特質を浮き彫りにしようとする意欲を期待したい。

また教科書では扱わない明治以降の工芸史については、いわゆる「人間国宝」という存在を通して学ぶことにより、現代における伝統工芸へのさまざまな問題意識を持って欲しい。

課題の概要

○通信授業課題 1

日本の工芸のうち、海外との交流から影響を受けたと考えられる作品を選び詳述しなさい。

○通信授業課題 2

任意の重要無形文化財について述べなさい。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

『造形文化科目・教職に関する科目学習指導書』所収「学習の進め方」（必読）の項目で指摘したように、教科書『日本造形史』では、工芸を扱う箇所が様々な視点から折り畳むように扱われているので、そこを丁寧に読み解くこと。

① 各人の参考とする美術全集、文献、図版などの選択を行いつつ、教科書の読解を行う。

第 1 部「生活の造形」

全 7 章で、造形史の基礎全般を学ぶ。

第 2 部「宗教の造形」

第 1 章（原始信仰の造形）、第 3 章（顕教の造形）、第 6 章（禪の造形）

ここでは工芸に関係する 3 つの章を学ぶ。

第 3 部「作家の造形」

第 3 章（彫刻家と工芸家）、第 4 章（茶匠と花匠）

ここでは工芸に関係する 2 つの章を学ぶ。

② 通信教育課題での学び方

課題 1 では教科書と参考文献を利用してテーマを絞り、海外との比較を通して日本の造形を学ぶ。

課題 2 では人間国宝を学び、身近にあるわざの伝承を調査し、認識する。

成績評価の方法

◎科目試験

科目試験には、教科書の内容、及び課題 1、2 に関連した問題を複数問、記述式で出題する。少なくとも教科書に掲載される工芸の図版（カラー、白黒とも）についての説明はできるように学習しておくこと。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：水尾比呂志『日本造形史 用と美の意匠』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

その他

身の回りの工芸品から博物館などで見られる工芸品まで、常にその世界に触れることを心掛けよう。

0420

印刷文化論

4 単位（通信授業 4 単位）

田村裕教授、杉山聡講師

授業の概要と目標

15 世紀半ばのグーテンベルクによる活版印刷術の発明以降、印刷技術と印刷メディアの発展が、近代文明の構築や造形芸術の展開といかに密に関わり、底支えをしてきたのかについて理解を深めることを目標とする。また、その学習をふまえて、印刷の果たしてきた役割が、21 世紀以降の社会において、どのように引き継がれ、あるいは引き継がれずに変容していくのかを自分の視点で考察しうる能力を養う。

課題の概要

○通信授業課題 1

自分のこれまでの生活の中で、強く印象に残っている印刷物（出版物や附録、広告、包装紙、玩具など。版画作品やパソコンでプリントアウトしたものは含まない）を 1 点（1 冊）だけ取り上げ、「その印刷物と私の関わり」について分析・考察して論じなさい。図版を 3 点まで添付可（2000 字以上、2200 字以下とする）。

○通信授業課題 2

三版方式（凸版印刷・凹版印刷・平版印刷）の各々について、「文明史的役割」と「芸術的役割」を論じなさい。図版を 3 点まで添付可（2000 字以上、2200 字以下とする）。

○通信授業課題 3

近代文明のあり方と印刷物のかかわりについて論じなさい（2000 字以上、2200 字以下とする）。

○通信授業課題 4

21 世紀以降の文明における印刷の役割あるいはそれに代わるものの可能性について論じなさい。図版を 3 点まで添付可（2000 字以上、2200 字以下とする）。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

以下のような教科書の構成に沿って学習を進めるものとする。

0. はじめに
1. 印刷とは
2. 凸版印刷
3. 凹版印刷
4. 平版印刷
5. 紙
6. 書物の形態
7. 印刷と文字
8. 書物の機能
9. 印刷と文化

成績評価の方法

◎科目試験

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：酒井道夫『印刷文化論』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

その他

参考文献は、教科書の末尾に記す。追加する情報は、順次、刊行物、Web 上に提示する。

0440 | 映像文化論

4 単位（通信授業 4 単位）

林司講師

授業の概要と目標

今日は映像化社会といわれるが、その「映像」技術の原点は、いまから約 180 年前に発明された写真である。写真術の出現は、人々の知識や経験の共有を豊かにし、社会の近代化を加速するとともに、映画を始めさらなる映像技術の開発を促した。また映像メディアの実用化は、造形表現、視覚認識の方法、そして技術的学問的な面での方法論に、大きな変革をもたらした。本講ではそれらの変遷に関心を払い、写真の歴史を軸として「映像」の関与という観点からの文化論を展開する。

課題の概要

4 単位の学習成果をあげるために、4 回の通信課題を提出する。
教科書の消化を前提とした上で、各学生のこれまでの映像体験を照らし合わせ、きわめて身近なテーマを分析、考察する段階から始める。回を重ねるごとに、各人が映像文明についての洞察的姿勢を獲得していくことを望む。なお、web・郵送ともに、レポート文字数の中に参考資料・参考 URL 等の注釈は含まない。

○通信授業課題 1

「写真」とは何かを、自身の体験をもとに述べなさい。図版、写真等 3 枚まで添付可。

○通信授業課題 2

写真の発明と発達が、社会に及ぼした影響を写真の歴史をふまえて考察しなさい。図版、写真等 3 枚まで添付可。

○通信授業課題 3

芸術としての写真について、19 世紀半ば以降の写真の歴史をもとに考えるところを述べなさい。図版、写真等 3 枚まで添付可。

○通信授業課題 4

デジタル技術やネット社会におけるデジタル写真の利点と問題点を述べ、デジタル写真ならではの作品を制作している写真家の例をあげなさい。図版、写真等 1～3 枚まで添付のこと。

*課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

序 「写真史」を学ぶことについて—写真と現代生活の関係を捉え直す

1. 写真前史—その知識伝統の系譜
2. 写真術の誕生—発明者達
3. 写真活用の第一歩—旅行・調査・記録
4. 肖像写真と新しい社会—市民社会の息吹を受けて
5. メディアとしての写真の台頭—社会の実相を映す鏡
6. 新しい芸術思潮と写真—両大戦間の前衛芸術の興隆
7. グラフジャーナリズムの時代—雑誌文化と市民社会
8. 芸術行為としての写真の始動—ドキュメンタリー写真の新たな意味
9. 映像化社会におけるアイデンティティー—現代芸術に見る写真の応用
10. 転換期の写真表現と未来への展望—デジタル写真技術の可能性と視覚伝達の文化

成績評価の方法

◎科目試験

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：平木収『映像文化論』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019年）

その他

写真を中心として映像全般を鑑賞する機会を大切にすること。

美術館やギャラリー等の展覧会に足を運んだり、写真集や雑誌、Webなどを活用して、様々な写真に触れて“見る目”を養うこと。

0450 | デザインマネジメント

4 単位 (通信授業 4 単位)

白尾隆太郎教授、佐藤典司講師、渡辺衆講師

授業の概要と目標

デザインは単なる造形行為ではなく、人文科学、社会科学、自然科学にまたがる知識を人間性、社会性、芸術性の基に統合して問題を発見し、課題を構築し、総合的に解決する活動である。デザインマネジメントはその目標の実現に向けて、デザインの機能、能力、組織を有効に発揮させるための経営管理である。急激に進展する情報社会の中で、デザインマネジメントに対する要求はより高度化、複合化しており、他分野とのコラボレーションはますます重要になって来ている。デザインマネジメントを学ぶには、デザインを理解していることが前提であると考え、デザインの歴史的考察からはじめ、豊かで持続可能な生活環境の形成に向けて、今後のデザイン/デザインマネジメントはどのように活動して行くべきかを考察する。

課題の概要

○通信授業課題 1

道具は人々の生活にとって欠かす事ができない。使用場面における問題や要求を明示し、それを大胆に解決する新しい道具（機器、装置）のデザインを提案すること。企画意図、使用シナリオやシーンをスケッチや図面と併せて1600字程度のレポートとして市販のA4サイズ用紙4～6枚に美的にまとめる。

○通信授業課題 2

「コンビニエンスストアのデザイン提案」

次の1)から5)の項目から1つ選び、現地調査の上、ビジネスとしての将来性、文化性、社会性などの視点からの論評と大胆で具体的なデザインを提案すること。「求められるデザインマネジメントの活動姿勢」から適切と思われる姿勢を反映した提案とする。必ず現地・実態調査をすること。また、その調査を基にして顧客特性（性別、年代、職業、ライフスタイル、ニーズ特性など）を示すこと。調査と提案は、写真、スケッチ、図面、概念図などの視覚的な説明資料を使って説明すること。2000字程度のレポートとしてA4サイズ用紙4～6枚に美的にまとめる。

- 1) コーポレートアイデンティティ：シンボルやロゴマーク・コーポレートカラーなどの企業姿勢を可視化する表現、イメージキャラクタ・包装紙・サイン・店舗イメージカラー・従業員のユニホームなどのデザイン展開
- 2) 宣伝戦略：宣伝ポリシー、宣伝メディア（ちらし・CM・カタログ）、イベント企画など
- 3) 商品戦略：商品品揃え、商品特性、デザイン傾向、新サービスの導入など
- 4) 流通：価格政策、受注や支払い方法、流通方法など
- 5) 売り場、店舗デザイン：展示特性、売り場レイアウト、商品の取り扱いなど

○通信授業課題 3

高度情報化時代を迎え、これからもますます人間疎外の進行が予測される。そこで、デザイナーの視点から、ICTを活用したサービスビジネスの提案をすること。とくにバーチャルとリアルの両視点の特徴を活かした提案を期待する。

PCや携帯電話あるいはWeb上での商品販売、サービス展開などの内容に精通していない学生でも、自分の周辺にいる専門家やうまく使っている人の意見を謙虚に聴き、客観的な調査を図ること。専門知識の豊富な人々からの意見を柔軟に吸収するテクニックもデザインマネジメント演習に役立つはずである。そして学生らしく夢のある楽しい提案を期待している。

〈着眼点〉

①商品やコンテンツの販売、②新しいサービスの提案、③ビジネスモデルの仕組み、の三つの視点のうちから一つに焦点を当てて提案のこと。

〈条件〉

- ・実現時期は2～3年後を想定。
- ・市販のA4サイズ用紙4～6枚に「現状把握」「提案内容」「予想される効果」「問題点」などを簡潔にまとめること（表現シナリオの流れもデザインの対象とする）。

- ・表現方法は自由であるが、できるだけ図表を用いて上記趣旨を簡潔に説明すること。
- ・Web 上での課題提出の場合には PDF 化し、データを軽くしておくこと。

○通信授業課題 4

あなたは、ある大手老舗酒造メーカーの社員であり、これから発売が予定されている、ある新しい日本酒の販売企画の総責任者でもある。この新製品は、これまであまり日本酒に親しみのなかった若い女性をターゲットとしている。

教科書の 5 章 1 節 5 項の「情報の価値を付加してゆくデザイン」を参考にしながら、あなたであれば、商品ネーミングや容器デザイン、広告、宣伝、流通ディスプレイ、営業の販促ツール作成など、どのようにしてこの新製品を売り出してゆくか、市販の A4 サイズ用紙 4～6 枚（視覚的説明資料含む）で具体的に論じなさい（ただし、日本酒の味、容量などは、ターゲットを想定して、自由に考えてよいものとする）。なお、容器デザインやその他について、言葉だけでは説明しにくいと思われるものに関しては、ラフデザインなど、視覚的な説明資料を添付すること。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

(教科書から)

1. 人間とデザイン。
2. 近代デザインの展開、企業とデザインの関わり。
3. 企業経営とデザインマネジメント。
4. 企業におけるデザイン実務とそのデザインマネジメント。
5. 情報化社会とデザインマネジメント。

成績評価の方法

提出課題の評価による。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：坂下清、鶴田剛司、竹末俊昭、佐藤典司『デザインマネジメント』
(武蔵野美術大学出版局 2002 年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』
(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年)

0460 | アートマネジメント

4 単位 (通信授業 4 単位)

新見隆教授、加藤義夫講師

授業の概要と目標

ここで学習する「アートマネジメント」のアートとは「美術」を基本としたマネジメント講座である。そのアートの範疇は、絵画・彫刻・版画・写真・映像・インスタレーション・デザイン等を含む視覚芸術とする。

アートは、社会の様々な人々のサポートによって世の中に発信され、受信者としての鑑賞者や収集家がいいて、はじめて芸術として成立するものである。人々がアートに接することで、アートは市民社会の中に機能する。その意味においてアートは創り手と受け手の協働作業でもある。

アートマネジメントとは、アートと社会の橋渡しとして、展覧会やアートプロジェクト、アートイベントを企画制作することを最終目標とするが、アートの現場、例えば美術館・画廊等に接することが重要となる。

課題の概要

○通信授業課題 1

「文化政策及びアートマネジメントとは何か」についてレポートを提出する。

○通信授業課題 2

「美術館のアートマネジメントとは何か」についてレポートを提出する。

○通信授業課題 3

「地域社会におけるアートマネジメントとは何か」についてレポートを提出する。

○通信授業課題 4

「アートプロジェクトの計画から実施まで」をレポートにして提出する。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

1. 「文化政策及びアート・マネジメントとは何か」について考察する。
2. 地域の美術館を訪れ、美術館運営や展覧会のマネジメントについて調査し考察する。
3. 自分の住む地域の芸術文化活動を調査し考察する。
4. 美術館・画廊の見学と体験を通して「アートプロジェクトの計画から実施まで」をレポートにする。

成績評価の方法

提出課題の評価による。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：新見隆ほか『アートマネジメントを学ぶ』（武蔵野美術大学出版局 2018 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

その他

自分の住む地域の博物館・美術館・画廊・寺院の宝物殿等を訪れ、鑑賞体験を積極的に行う。地域の芸術文化活動にアートボランティアとして参加し、アートの現場を体験することも重要である。

0470 | 情報社会倫理論

1 単位（面接授業 1 単位）

上田卓司講師

授業の概要と目標

情報化に伴う社会問題と可能性を概観し、著作権等の知的財産権、プライバシー保護、セキュリティ管理等を含む今日に不可欠な倫理や社会的ルールのあり方と動向について講義する。
特に、美術・デザインとの関連を踏まえ、今日の情報社会のあり方と倫理を追究する。

課題の概要

○面接授業課題

授業内容を踏まえ、情報に関する倫理観の問題と今後のあり方、情報社会と個人との関係について論述を行う。

授業計画

[面接授業]

- 第1日 情報化社会の現状と情報倫理、マナー、情報化社会とプライバシー
第2日 情報をめぐる知的財産権、美術・デザイン創作活動と法的保護の現状
第3日 デジタル化の進展と今後の情報倫理。課題レポート作成

成績評価の方法

面接授業内の課題のレポート評価によるものとする。授業回数が少ないので、欠席があるものは不可とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

なし

その他

参考文献：授業内でしらせる。

0480

情報職業論

1 単位（面接授業 1 単位）

津森暁史講師

授業の概要と目標

情報化社会という言葉が語られて久しいですが、いまや情報化という文脈で語られるモノは、単なるインターネットメディア的なものから、IoT などの形を持った製品や、行政手続きとの接続など、次々に範囲を拡げており、グローバルで見た場合は、既に産業化したと言っても良いと考えます。

本講座では、職業（ビジネス）として、産業化した IT に関する市場事例や、今後の日本が避け得ない、高齢化社会、あるいは人口減などの日本固有の社会現象と、IT 産業がどのようにクロスしていくのかを踏まえながら、実際の事業責任者をロールプレイするグループワークを実施し、現実同様に設定される課題／テーマに沿いながら、製品の戦略戦術を考え抜くこと、その結果をプレゼンテーションする、体験学習形式となっています。

授業計画

第 1 日

- ・チェックイン
- ・テーマの発表と、プレゼンテーションに向けた説明
- ・ビジョンとミッション、戦略と戦術などの定義について
- ・グループワークに際したメソッド体験
- ・プレゼンテーション事例
- ・IT 産業を通して予測される、今起きていること、これから起きるであろうこと
- ・ワークアウト

第 2 日

- ・グループワークに際したメソッド体験
- ・グループワーキング（プレスト／プレゼンテーション準備）
- ・ワークアウト

第 3 日

- ・グループワーキング（プレスト／プレゼンテーション準備）
- ・プレゼンテーション
- ・相互評価
- ・チェックアウト

※ 一部、状況に応じて変更する可能性があります。

成績評価の方法

出席およびグループワークへの参加、最終日に行うプレゼンテーションの総合評価

教材等

プレゼンテーション作成に際し、個人 PC をお持ち頂いても結構です。

学校側からはグループにつきノート PC 1 台の貸与を想定しております。

※ 貸与 PC は台数に限度がありますので、参加人数次第ではグループ間で共有頂く場合があります。

その他

本講座で学ぶ「情報職業」とは、情報化社会に直接関わる IT 産業における事業／ビジネスを指しており、その一員としての仮想体験をする事を重視しています。

講義形式でテキスト理解するのではなく、実際に存在する課題を自分達自身で考え抜くことで、その経験が参加された方の日々の業務や、将来のキャリアプランの一助になることが出来たら幸いです。

プレゼンテーションスキルそのものの質は問いませんが、自分が好きなことややりたいことをただ発想するのではなく、参加するグループの方々と協力し、事業責任者として課題に向き合った提案を頂きたいと思います。

面接授業では、グループワークを予定。

0490 | 演劇空間論

4 単位 (通信授業 4 単位)

牧野良三教授

授業の概要と目標

古代ギリシャを源流とする演劇の流れと、それを上演・観賞する劇場空間の関係を、美術的視点から比較検討して、演劇及び演出された空間の特質を考察する。それによって、非日常的な祝祭空間への理解と認識を深めることになり、空間における演出の役割、造形的演出の具体的な手法、舞台美術や舞台照明・映像等の概要も把握してもらおう。

課題の概要

○通信授業課題 1

「生活の中の祝祭性について考察する」

日常生活の中でメモリアルな行事や慣習を通して祝祭の役割を考える。レポート 1200 字以上、1500 字程度。

○通信授業課題 2

「劇場—演ずるための場について考察する」

身近にある劇場・ホールが日常の生活とどのように結びついているか考える。

あるいは実演や祭事の実例を挙げて生活の中での役割について考察する。レポート 1200 字以上、1500 字程度。

○通信授業課題 3

「舞台や都市空間における光の演出効果を考察する」

自然光や人工照明は、その使い方によって日常的な風景や事物に新たなイメージを表出する。その具体的事例と効果について説明する。レポート 1200 字以上、1500 字程度及びスケッチ又は写真を添付する。

○通信授業課題 4

「実際に観た演劇や芸能、映画・TV の作品の空間と演出について考察する」

単なる作品批評ではなく、その成立背景やテーマを浮き彫りにする演出手法などを説明する。レポート 1200 字以上、1500 字程度。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書の目次より。

第 1 章と第 2 章「演劇空間の理念と移り変わり」……………課題 1 の参考。

第 3 章と第 4 章と第 5 章「舞台美術と演劇空間と劇場の構造」……………課題 2 の参考。

第 6 章「舞台照明」

第 7 章「舞台衣装」

第 8 章「舞台化粧」

第 9 章「設計」

第 10 章「音響」

第 11 章「映像空間」

第 12 章「演劇の境界領域」結び

……………課題 3 の参考。

光と空間の手掛りをさがす。

……………課題 4 の参考。

実際の作品を観賞する。

成績評価の方法

◎科目試験

教科書の内容を中心に出题。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

スペースデザインコース進学希望者は、1～2 年次に履修することが望ましい。

教材等

教科書：小石新八『演劇空間論』（武蔵野美術大学出版社 2002 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

その他

教科書の他に、演劇、劇場等に関する参考書、雑誌は多数あるので、適宜に選択してほしい。TV や舞台公演も教材である。

日常生活の中で、様々な演劇的状况（祭事・イベントも含む）を注目し、様々な演出された空間を発見してほしい。

0500 | 工業技術概論

4 単位（通信授業 4 単位）

牧野良三教授、近藤嘉男講師

授業の概要と目標

私たちの生活は、住宅や衣類、用具、情報機器、交通機関などさまざまな人工物を基盤として成り立っている。これらの人工物は、人類が道具を利用することを覚えて以来様々な工夫があり、発展を遂げてきた、いわば人類の英知の結晶である。特に産業革命以降の近代工業技術による工業製品は人間の生活を快適で豊かにするために必要なものを設計・製作し、あるマス（量）を前提にして生産されている。

一方、工業製品の氾濫で地球規模でのエネルギー問題や環境問題もクローズアップされている。これらの問題を解決する方法もまた、科学技術の発展をベースにした工業技術といえる。

いろいろな工業製品を作るバックボーンになる工業技術の概要を理解し、生産技術とは何か、“もの”のあり方とは何かを考察し、生活者として正しい視点を持ち、デザインを正しく理解し、評価できる基礎的な知識と考え方を学ぶことを目標とする。

課題の概要

○通信授業課題 1

日常的に使用している身近な品々から量産されている 30 種類を取り上げ、その材料、加工方法、表面処理を推測して報告する。

○通信授業課題 2

自動車のプラモデルのキットを購入し、そのパッケージに入っているパーツをよく観察してプラスチックの生産技術を分析、その結果を考察しレポートを作成する。

○通信授業課題 3

自動車は多くの部品から構成された工業技術の粋ともいえる製品の代表である。プラモデルも樹脂射出成型技術の粋ともいえる。この二つを比較して技術とは何かということについて考える。

課題 2 で選んだプラモデルを組立て、実際に存在する自動車と比較して、プラモデルとの比較を行いその違いを考察しレポートを作成する。

○通信授業課題 4

いくつかの部品で構成された生活用品を取り上げ、その素材と加工技術を特定し、機能と造形にどのように関連しているか、それぞれの素材と加工技術を論じる。

*課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

1. 身の回りの品々を観察し、デザインの基本になる技術、技術と造形の関連性を認識する。
2. 多くの製品に利用されるプラスチック技術の概要を、プラモデルの部品を例に考察する。
3. 材料と加工技術、造形の関連を認識しその概要を理解する。
4. 製品の部品構成を観察することにより、素材の加工技術と造形の関連を学ぶ。
5. 各課題を行うことにより、素材と加工技術、造形との関連性やもの造りのコンセプト、デザインの視点を理解し、クリエイターとしての造形における視点や生活者として消費における問題意識の視点を身に付ける。

成績評価の方法

提出課題の評価による。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わないが、図面を描く基礎的な知識を持つことを前提とするため、「図法製図 I」の単位を修得しているか、同時に履修することが望ましい。

教材等

教科書：岩井正二、青木弘行著 『工業デザインのための材料知識』（日刊工業新聞社 2008 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

2200

| 絵画空間論

| 2単位（通信授業2単位）

重政啓治教授、三浦明範教授、小森琢己講師、清水健太郎講師

授業の概要と目標

絵画として、表現される画面には、さまざまな表情がある。その表情のひとつとして「絵画空間」は存在する。そのことを知るために、作品の鑑賞を通し、画面分析と自己の考えをまとめることを目的にする。導入としては、西洋と東洋の絵画空間の変遷を通し、画面にはどのような空間が存在し、その空間がどのような役割や効果を生んでいるのか考察しながら追求して行く。

課題の概要

○通信授業課題1

選択した作品に於ける画面の成り立ちを分析する。

好きな作品、あるいは興味のある様々な作品、例えばラスコーの壁画が描かれた時代から20世紀初頭までの絵画と言われる作品を2点選択し、その作品の画面がどのような空間の処理がされているかを考察し、レポートにまとめる課題。

○通信授業課題2

自己の絵画空間論について述べる。

平面絵画に現れる絵画空間について、自己の考え方や自己が理想とする空間をレポートにまとめる課題。

*課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

教科書を通読した上で、通信授業課題1、2に取り組むこと。

成績評価の方法

○ 科目試験

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：堀内貞明、永井研治、重政啓治『絵画空間を考える』（武蔵野美術大学出版局 2010年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019年）

0520

美術解剖学

2 単位 (通信授業 2 単位)

伊藤恵夫講師、平晃子講師

授業の概要と目標

美術解剖学では、ヒトや他の動物の体の中にある骨格や筋肉について学ぶ。体の内部構造に関する知識は、体表に現れるレリーフを意味のある「かたち」として認識するための助けとなる。ただアウトラインを追うだけの観察ではなく、立体としての形態やバランスを把握する力を養成する。また、実際に造形作品を作成する際に、何を表現し何を省くかを、自分で選択できる目を養うことを目標とする。

課題の概要

○通信授業課題 1

「四肢の骨格を意識して動物の全身を描く」

動物園などに行き、四肢（まえあし、うしろあし）の骨格を意識して、動物の全身像をスケッチする。哺乳類を 2 種以上（ただし、霊長類“サルの仲間”を除く）、鳥類を 1 種以上。それぞれの動物の肩、肘、手くび、膝、かかとの位置を示すこと。提出は B4 サイズ、3～6 枚。動物の名前も明記すること。課題解説をよく読むこと。

○通信授業課題 2

「人物画または人物彫刻のポーズで骨格図・筋肉図を描く」

造形作品（絵画または彫刻：全身像とする）を 1 点選び、トレースした図 2 枚に骨格および筋肉を描き込む。課題解説をよく読んで作品を選ぶこと。使用した図版（コピー）1 枚、骨格図 1 枚、筋肉図 1 枚。B4 サイズに統一して提出する。

*課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

- ・美術解剖学を学ぶにあたって
- ・骨格について
- ・筋肉について
- ・プロポジション

成績評価の方法

◎科目試験

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：ルイーゼ・ゴードン『人体解剖と描写法』上昭二訳（ダヴィッド社 1982 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

その他

参考文献：桜木晃彦『自分の骨のこと知ってますか』（講談社 2001 年）

アーネスト・T・シートン『美術のためのシートン動物解剖図』（マール社 1997 年）

Fritz Schider “An Atlas of Anatomy for Artists” (Dover, 1957)

Paul Richer, Rovert B. Hale(ed.) “Artistic Anatomy” (Watson-Guptill, 1971)

W. Ellenberger, H. Dittrich, H. Baum “An Atlas of Animal Anatomy for Artists” (Dover, 1956)

0530

環境学

2 単位（通信授業 2 単位）

(2019 年度をもって廃止)

渋江桂子講師

授業の概要と目標

この環境学の科目は、地球環境と人間活動とのかかわりについての理解を深め、あらためてそれぞれに自分の日常に、賢明な心配りが行き届くようになることを、まずは期待しています。大切なキーワードは、生態学、都市、景観のイメージ、生物多様性、自然植生、エネルギー、賢明な市民、地球温暖化と温室効果ガス、水系、土壌、そして持続的な経済発展などです。よく整理し、理解したうえで、地球環境と人間活動についての自分の考えを明確にしてください。

課題の概要

○通信授業課題 1

地球環境問題に関して理解を深め、さらに、都市化や自然環境の喪失が人間の心身に与える影響について様々な角度から理解する。そのうえで人間の生き方について考え、あらためてそれぞれの日常に、賢明な心配りが行き届くようにすることを目的とした課題。

○通信授業課題 2

多様な生態系とその維持システム、保全手法に関して理解を深め、そのうえで、身の回りの自然環境に目を向けて「どのように保全するか」について考えることを目的とした課題。

※ 課題 1・2 は、それぞれ、(A) と (B) から構成されています。

○(A) (課題 1・2 共通)

(A) では、各課題に関連する箇所の教科書を熟読し、各章に取り上げられている参考文献にも目を通して理解を深めましょう。教科書の各章に挙げた参考文献は、ぜひ読んでほしい名著ばかりです。何処の図書館でも手にすることが出来るでしょう。各章、どの一冊でも良いですから、自分で読みやすいものをえらんでしっかり読み込んでください。そのうえで、解答してください。

○(B) (課題 1・2 共通)

(A) で各課題に対する理解を深めたうえで、実践的な課題 (B) に取り組んで下さい。

大学所定のレポート用紙に書く必要はありません。必要なイラストや図表を効果的に作成して論旨を展開して下さい。課題内容によっては、絵画、イラスト、映像、アニメなどにも挑戦して、プレゼンテーションの方法を工夫してみましょう。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書をしっかり読んで理解すること。

成績評価の方法

◎科目試験

課題 (A) より出題する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：立花直美他『環境論』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

〈執筆者と関係した分野と章〉

序章、1 章、3 章、終章 立花直美：建築学、都市生態学。

2 章 渋江桂子：生態学、景観生態学。

4 章 高間三郎：建築設備設計、自然エネルギーの開発と活用。

5 章 市田則孝：自然保護と市民運動、NGO の活動の展開。

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年)

2210 | 日本画材料学

2 単位 (通信授業 2 単位)

重政啓治教授、中野めぐみ講師

授業の概要と目標

日本画と言われる領域において、なじみのない言葉は多くある。また特異な言葉もさまざま存在する。それらに関する用語の内容と意味の深さを知ることは文化の重みや特色も感じることが出来る。

この科目は、制作を通してではなく、古来使われ続けている群青、白緑などから現在多様な色が存在する日本画の絵具を取り上げ、それらの体系的な解説をもとに知識を深める。また、日本画の制作時に用いられる用具用材として、絵具の接着剤、支持体、筆、制作の補助用具など、さまざまな描画材に関わる種類の体系を学ぶ。さらに、日本画の制作時に出てくる独特と言える用語についても、知識を深めることを目的とする。

課題の概要

○通信授業課題 1

日本画絵具分類表を、指定された形式で作成をする。

生活する身のまわりにある物で日本画絵具の素材になるものを探し、指定された形式に従い分類表の作成をする課題。

○通信授業課題 2

日本画の用具用材について、生活利用調査をする。

日本の地域の中で育った現在日本画と呼ばれている素材が、身近にどのように活用されているかの実態調査と可能性についてレポートにまとめる課題。

*課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

教科書を読みながら学習を進め、通信授業課題に取り組む。

成績評価の方法

◎ 科目試験

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：重政啓治監修『日本画の用具用材』（武蔵野美術大学出版社 2010 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

0540 | ワークショップ研究Ⅰ

2単位（通信授業1単位、面接授業1単位）

杉山貴洋講師、川本雅子講師、田中千賀子講師

授業の概要と目標

ワークショップ研究は、学校や教室のみならず、ひろく社会の場において、造形活動に関わり、つくる、みる、伝えるなどの実践を研究するものである。グループで活動するときに使われる「ワークショップ」という手法を通じて、様々な視点から、コミュニケーションの方法、グループワークの広がり、造形活動の可能性などの在り方を考察する。

課題の概要

○面接授業課題

夏のスクーリングに参加してワークショップを体験する。またワークショップを体験し、議論をおこない、その展開を試みる。

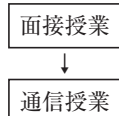
グループワークや体や言葉を使ったコミュニケーション活動などを含む。

○通信授業課題

各自の地域や社会教育施設等で開催されているワークショップに参加する。そのプロセスをイラスト、漫画、絵日記などで簡潔にまとめる。また、その記録とレポートと合わせて提出する。

*課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画



面接授業→通信授業とする。

教科書『造形ワークショップ入門』の目次より。

- 第1章 ワークショップの手法
- 第2章 ワークショップをつくる
- 第3章 ワークショップをまなぶ

[面接授業]

第1日 実際にワークショップを体験し、その手法と特長を理解する。

第2日 ワークショップの手法をもとに、テーマを設定し、制作や演技・計画などを組み立てる。

第3日 2日目に計画されたワークショップを発表し、レポートに簡潔にまとめる。

[通信授業]

各自の地域や社会施設で開催されているワークショップに参加する。(ワークショップ研究Ⅰでは、参加者からスタートする。企画に携わる試みは、ワークショップ研究Ⅱで行う。) そのプロセスをレポートにまとめ、添付資料としてイラスト、漫画、絵日記などを使って簡潔にまとめる。具体的な方法はスクーリングで紹介されるものを参考とする。また、その記録とレポートを合わせて提出する。

成績評価の方法

面接授業と通信授業の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：高橋陽一監修『造形ワークショップ入門』（武蔵野美術大学出版社 2015年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019年）

0550 | ワークショップ研究Ⅱ

2 単位（通信授業 1 単位、面接授業 1 単位）

杉山貴洋講師

授業の概要と目標

「ワークショップ研究Ⅰ」を単位修得した者を対象に、さらにワークショップの実践を発展させ、研究するための科目である。とくに、記録と検証を重視する。ワークショップの企画に携わり、実践を試みる。その上で、ワークショップをグループ活動に使う可能性を検証する。また、そのプロセスを記録し、活動に還元し、グループワークの広がりを考察する。

課題の概要

○面接授業課題

「ワークショップ研究Ⅰ」を履修し、どのような活動に参加し、どのような考察をしたのか、ワークショップ研究Ⅰを振り返り議論を行う。グループで行うワークショップを計画し実践をする。また、その展開の方法を検証する。

グループワークや体や言葉を使ったコミュニケーション活動などを含む。

○通信授業課題

各自の家庭や職場、地域や社会施設でワークショップの企画に携わる。または、美術館や社会教育施設で募集されているワークショップのボランティアに参加する。具体的な方法はスクーリングで紹介されるものを参考にする。また、その記録とレポートを合わせて提出する。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画



面接授業→通信授業とする。

[面接授業]

第1日 ワークショップ研究Ⅰのレポートを発表し、クラスメイトで議論を行う。

第2日 1日目の議論をもとに、クラスメイトを巻き込んだワークショップを企画する。

第3日 2日目に企画したワークショップを成立させ、その案内役を務める。その後、クラスメイト全員で検証する。

[通信授業]

実践例やマナーなどについて再考すること。その上で、各自の家庭や職場、地域や社会教育施設等でワークショップの企画を立てる。

または、美術館や社会教育施設等で募集されているワークショップのボランティアに参加する。ワークショップ研究Ⅱでは、企画する側からスタートして、グループワークを展開する。そして、そのプロセスをイラスト、漫画、絵日記などで簡潔にまとめる。

また、参加者への招待状や、お礼の手紙を活動の一環として、記録とレポートと合わせて提出する。具体的な方法はスクーリングで紹介されるものを参考にする。

成績評価の方法

面接授業と通信授業の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4年次

[履修条件] 「ワークショップ研究Ⅰ」の単位を修得していること。

[備考] なし

教材等

教科書：高橋陽一監修『造形ワークショップ入門』（武蔵野美術大学出版局 2015年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019年）